

鹿児島県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）プログラム 1日目

R1.9月23日(月)	講義名	内容	講師(敬称略)
R3.3月11日(水)			
8:30	受付		
9:15	開講にあたって	注意事項等	
講義① 0. 5H 9:30-10:00	行動障害のある人の暮らしを支えるために	地域で行動障害のある人を支えるために 地域で支えるためのチームアプローチ	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
講義② 1. 0H 10:00-11:00	支援の6つの原則を活かすために ～障害特性の理解～	支援の6つの原則 障害特性の理解	大友愛美 (こころりんく東川)
11:00-11:15	休憩		
演習① 1. 0H 11:15-12:15	適切な支援を組み立てる (予防モデル) 行動のアセスメント (前半)	アセスメントシートの説明(障害特性の理解) アセスメントシートの記入(障害特性に基づくアセスメント) 冰山モデルシートの記入(行動の意味を理解する)	大友愛美 (こころりんく東川)
12:15-13:15	昼休み		
演習① 1. 0H 13:15-14:15	適切な支援を組み立てる (予防モデル) 行動のアセスメント (後半)	アセスメントシートの説明(障害特性の理解) アセスメントシートの記入(障害特性に基づくアセスメント) 冰山モデルシートの記入(行動の意味を理解する)	大友愛美 (こころりんく東川)
14:15-14:30	休憩		
演習① 2. 0H 14:30-16:30	適切な支援を組み立てる (予防モデル) 支援手順書の作成	本人の特性を活かした支援を組み立てる 必要な配慮(構造化)を考える 支援手順書の作成	大友愛美 (こころりんく東川)

鹿児島県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）プログラム 2日目

R1.9月24日(火)	講義名	内容	講師
R3.3月12日(木)			
8:30	受付		
講義③ 0. 5H 8:45-9:15	支援の6つの原則を活かすために ～行動の生じる理由と対応～	支援の6つの原則 行動の理解 行動障害への対応のヒント	神田 宏 (横浜市発達障害者支援センター)
演習② 1. 0H 9:15-10:15	行動上の課題に対応する (行動障害対応モデル) 記録とアセスメント	冰山モデルシートの記入(行動の意味を理解する) ストラテジーシートの記入(行動の意味を理解する)	神田 宏 (横浜市発達障害者支援センター)
10:15-10:30	休憩		
演習② 2. 0H 10:30-12:30	行動上の課題に対応する (行動障害対応モデル) 支援手順書の作成	本人の特性を活かした支援を組み立てる 必要な配慮(構造化)を考える 支援手順書の作成	神田 宏 (横浜市発達障害者支援センター)
12:30-13:30	昼休み		
演習③ 1. 0H 13:30-14:30	危機対応と虐待防止	危機対応の取組み(危機対応の方法) 虐待・拘束を生まない取組み・環境	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
14:30-14:45	休憩		
講義④ 1. 5H 15:45-16:15	行動障害のある人の 生活と支援	日中活動(生活介護など)における支援の実際 暮らしの場(家庭やGHや施設など)における支援の実際 外出(行動援護など)における支援の実際	調整中 (調整中) 調整中 (調整中) 調整中 (調整中)
講義⑤ 0. 5H 16:15-16:45	家族の思い	家族の気持ち	調整中 (調整中)
17:00	修了証交付		

※プログラム(各講義・演習)の講師ならびに、開始、終了時間については、スケジュールの都合上変更する場合がございますので、ご了承ください。